

# 小型囲いわな設置

平成29年4月25日(火)

晴時々曇

- 白神山地遺産地域への進入に危機感が高まるニホンジカ対策として、八峰町の八森山国有林内の小入川林道で、アニマルセンサー付きの「小型囲いわな」を設置し、昨年度に引き続き報道発表を今年度も行いました。
- 「アニマルセンサー」という装置はワナにシカが進入すると、センサーが感知してゲートを締め閉じ込める仕組みで、それがワナの後方に設置したカメラがスマートフォンやパソコンに画像を送信する仕組みになっていて、管理がしやすいのが特徴です。
- ここでは昨年センサーカメラに4回ニホンジカが撮影されました。
- まだ、ニホンジカの生息密度は少ないと考えられていますが、近い将来を見据えて早い段階から捕獲に向けた体制を構築していくことが重要と考えています。



マスコミの取材対応



「小型囲いわな」設置



作動状況確認



H28年度小入川で撮影されたニホンジカ